2013年3月期第2四半期 決算説明

2012年11月1日

古河スカイ株式会社

＜本日の内容＞

1．2013年3月期（2012年度）第2四半期決算概要

2．2013年3月期（2012年度）業績見通し

3．トピックス

1．2013年3月期(2012年度)第2四半期
決算概要

2012年度第2四半期 決算のポイント

■前年同期との差異について

・売上高約72億円減少、経常利益約17億円減少

⇒ 昨年度からの世界経済の減速感が強まる中、アルミニウム圧延品需要もLNG船用厚板向け以外は減少し、売上数量が前年同期比3%減少

■中間配当

・3円実施（予定通り）

2012年度第2四半期業績(対前年度)

＜連結＞

(単位:億円)

	11年度2Q累計 (A)	12年度2Q累計 (B)	増　減 (B)－(A)	増減率(%) (B-A)／(A)
売上高	1,008	934	▲74	▲7.4%
営業利益	51	29	▲23	▲44.1%
経常利益	48	31	▲17	▲35.3%
当期純利益	28	18	▲10	▲34.7%

＜個別＞(ご参考)

(単位:億円)

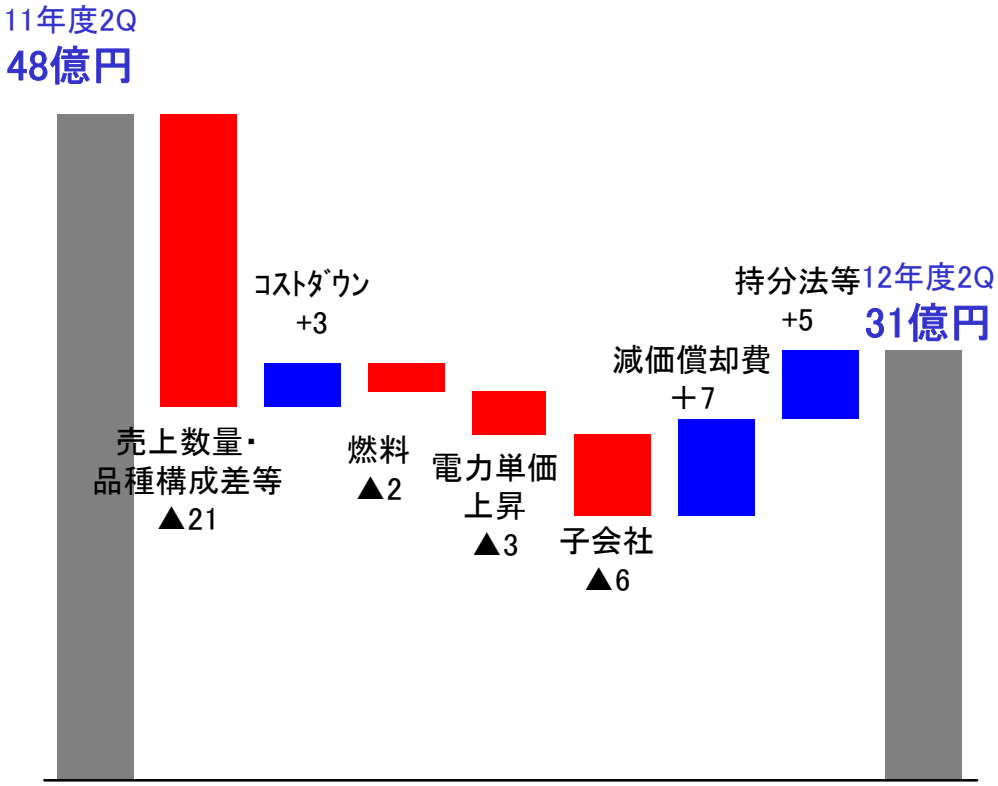
	11年度2Q累計 (A)	12年度2Q累計 (B)	増　減 (B)－(A)	増減率(%) (B-A)／(A)
売上高 (数量)	874 (203千トン)	794 (197千トン)	▲80 (▲6千トン)	▲9.1% (▲3.0%)
営業利益	39	23	▲17	▲42.4%
経常利益	37	22	▲14	▲39.3%
当期純利益	22	14	▲7	▲34.1%

連結経常利益分析 （11年度2Q累計→12年度2Q累計）

11年度2Q累計　48億円→12年度2Q累計　31億円　連結経常利益　増減内訳（▲17億円）

＜単体品種別数量＞　（千t）

品種			11年度2Q (a)	12年度2Q (b)	増減 (b)−(a)
板	缶材		69	63	▲6
	箔地		19	17	▲2
	一般内需		55	54	▲1
類	厚板	LNG	1	6	5
		その他	13	11	▲2
	輸出		29	28	▲1
	計		185	179	▲6
押出計			18	17	▲1
鋳鍛計			1	1	0
総合計			203	197	▲6



連結貸借対照表

（単位：億円）

	12/3末	12/9末	増減
流動資産	1,027	1,029	2
現金・預金	76	55	▲22
短期貸付金（運用）	88	102	14
受取手形・売掛金	571	563	▲8
棚卸資産	224	242	18
その他	68	67	▲1
固定資産	1,103	1,104	1
有形・無形固定資産	873	881	7
投資その他の資産	230	224	▲6
資産合計	***2,130***	***2,133***	***3***

	12/3末	12/9末	増減
流動負債	913	939	26
仕入債務等	574	562	▲12
短期借入金・一年以内返済長期借入金・社債	323	356	33
その他	15	20	5
固定負債	506	473	▲33
長期借入金・社債	384	346	▲38
その他	121	126	5
自己資本合計	706	715	9
少数株主持分	6	7	1
負債・総資本合計	***2,130***	***2,133***	***3***

連結経営指標

	12/3末	12/9末	増減
自己資本 （億円）	706	715	+9
自己資本比率 （%）	33.1%	33.5%	+0.4
有利子負債 （億円）	707	702	▲5
NET有利子負債 （億円）	543	546	+2
D/Eレシオ （倍）	1.00	0.98	▲0.02
NET D/Eレシオ （倍）	0.77	0.76	▲0.01
ROE （%）	5.1%	5.7%	+0.6

※億円未満四捨五入

注）12/9末段階のROEは、年度予想から計算した換算値。

2. 2013年3月期(2012年度)
業績見通し

2012年度 業績見通しのポイント

世界的な景気停滞が想定以上に長引いているため、
半導体・液晶製造装置用厚板や各種電子機器・部品向け材料を中心に、需要回復が遅れると予想。
損益改善施策を実施するも、売上数量減少の影響をカバーしきれず。

⇒通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも
　期初発表予想を下回る見込み。

2012年度連結業績見通し

（単位：億円）

	12年度期初見通し（C）	上期	下期	12年度見通し（D）	上期	下期	増　減（D）－（C）
売上高	1,940	946	994	1852	934	918	▲88
営業利益	82	30	52	60	29	31	▲22
経常利益	92	36	56	66	31	35	▲26
当期純利益	63	24	39	41	18	23	▲22

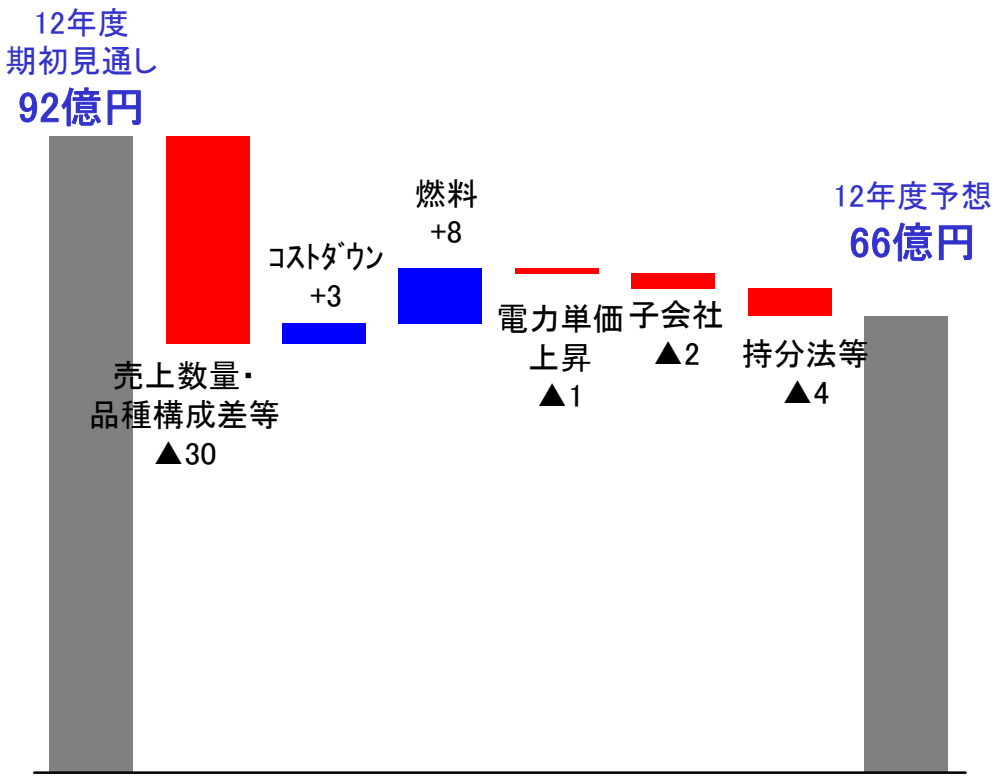
諸元（下期）　；　原油（ドバイ）　113 US＄/B，アルミ地金　190円/kg，為替　78円/US＄

連結経常利益分析 （12年度期初通し→12年度見通し）

2012年度期初見通し連結経常利益 92億円→2012年度予想 66億円増減内訳（▲26億円）

＜品種別数量＞ （千t）

品種			(c) 12年度通期期初見通し	(d) 12年度通期見通し	(d)-(c) 増減
板類	缶材		123	121	▲2
	箔地		37	34	▲3
	一般内需		110	107	▲3
	厚板	LNG	13	9	▲4
		その他	25	22	▲3
	輸出		68	65	▲3
計			377	358	▲19
押出計			34	33	▲1
鋳鍛計			1	1	0
総合計			412	393	▲19

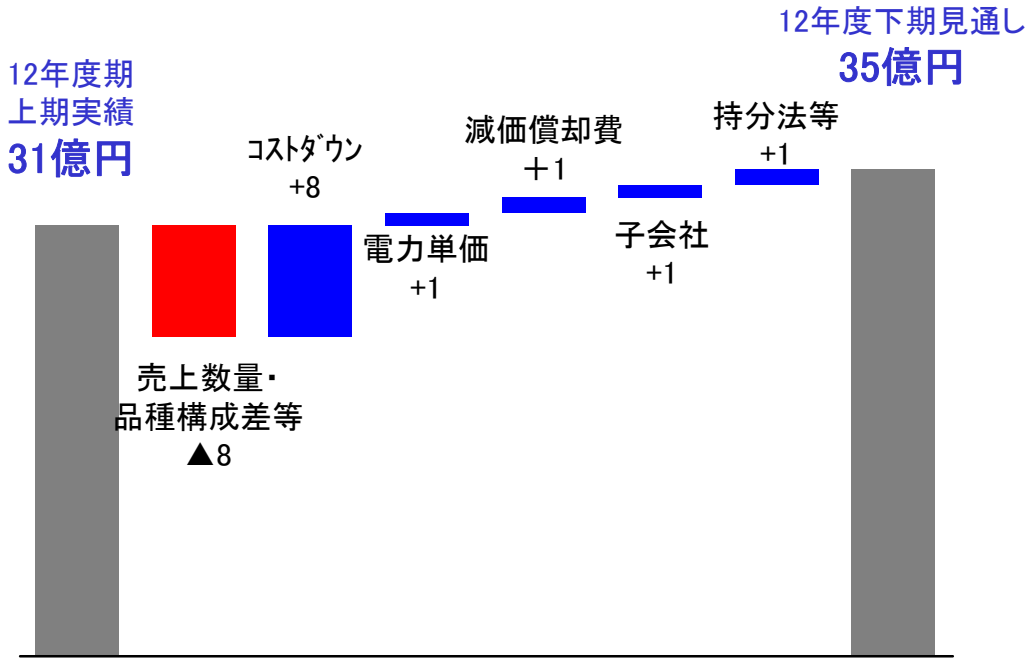


連結経常利益分析 （12年度上期実績→12年度下期見通し）

2012年度上期連結経常利益 31億円→2012年度下期見通し 35億円 増減内訳（+4億円）

＜品種別数量＞ （千t）

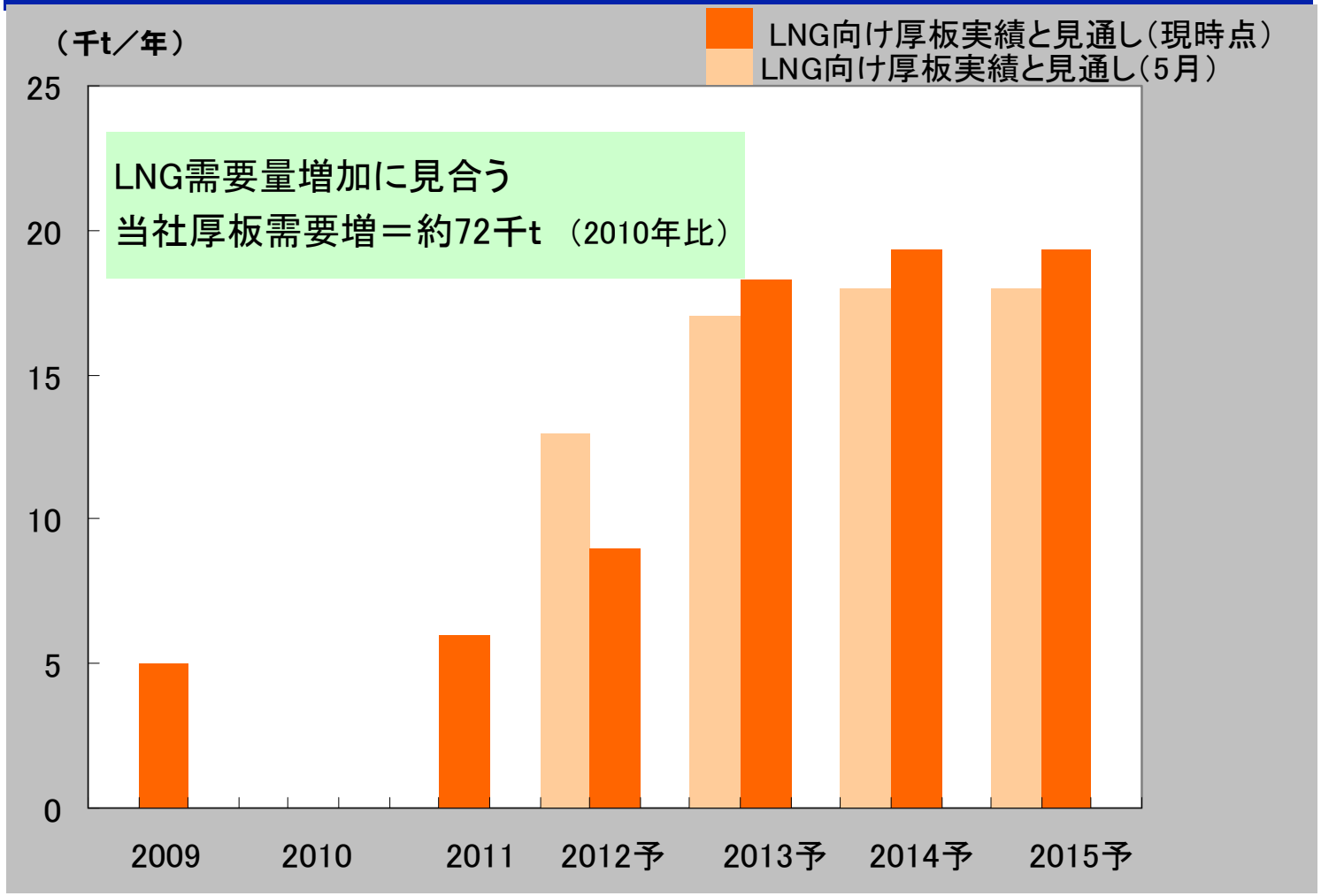
品種			(e) 12年度上期	(f) 12年度下期見通し	(f)-(e) 増減
板類	缶材		63	58	▲5
	箔地		17	17	0
	一般内需		54	53	▲1
	厚板	LNG	6	3	▲3
		その他	11	11	0
	輸出		28	36	8
計			179	179	0
押出計			17	16	▲1
鋳鍛計			1	1	0
総合計			**197**	**196**	**▲1**



需要動向①　LNG船向け厚板

■今後の当社ＬＮＧ船向け厚板製造見通し

造船メーカーの製造スケジュール変更等により、所要期が後にずれ、2013年度以降に上積み予定。



需要動向②　半導体・液晶製造装置向け厚板

■半導体・液晶向け厚板見通し

当初、下期の回復を見込んでいたが、半導体・大型液晶パネルの需要が鈍化し、製造装置需要も減少傾向にある中、先行きが予測できない状態であるため、当社厚板も需要の減少を見込む。

＜半導体関連会社の状況変化＞

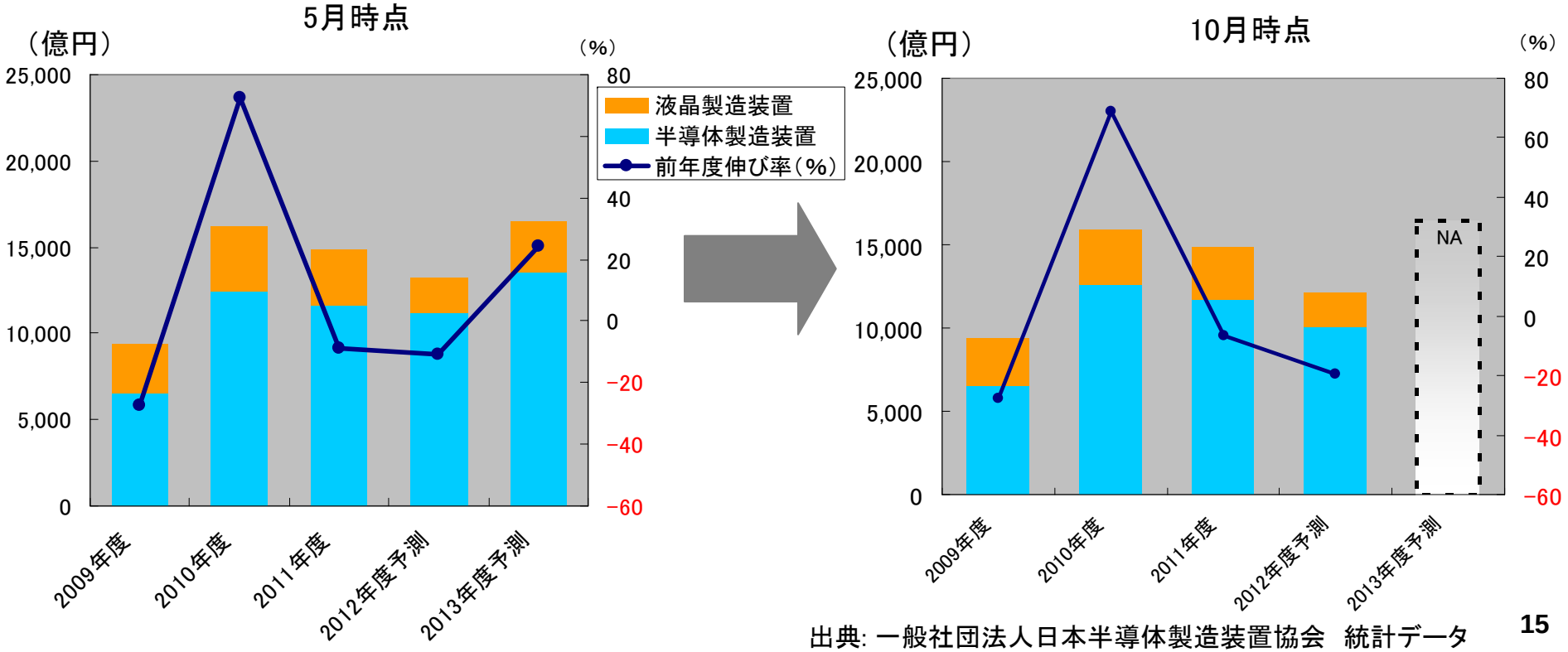
8月発表；大手半導体メーカー→　2013年度は2012年度比で投資半減

8月発表；半導体製造装置メーカーA社→業績予想修正（売上高▲14％）

10月発表；半導体製造装置メーカーB社→業績予想修正

（8月に続き修正；売上高▲16％）

日本製半導体装置及び液晶製造装置　販売（出荷）予測の変化



出典: 一般社団法人日本半導体製造装置協会　統計データ

3. トピックス

1．国内構造改革

■板事業（日光工場）構造改革完了

▶12年10月に日光工場上流工程（鋳造～冷延）を休止

⇒　収益基盤の再構築を目的とする生産体制の再編

▶他工場への早期移管により二重操業のコストを削減

⇒　2ヶ月前倒しで完了

利益貢献
2012年度　6億円
2013年度から本格的に寄与（20億円）

2-1. 東南アジア新工場

建設場所 土地面積	タイ王国　ラヨン県　アマタシティ工業団地内 約50ha
工場建設費	約500億円強
生産能力	18万トン／年
従業員数	600名超（2016年予定； 現在、一部人員が日本で研修開始）
生産品種	缶材、自動車熱交材、その他電気部品用一般材など
スケジュール	第一期操業開始－2014年1月予定 第二期操業開始－2015年3月予定

成長市場である東南アジアでの本格的アルミ圧延工場へ

2012.3
建設開始

2014.1
第一期（冷延工程～）
操業開始（6万トン/年）

2015.3
第二期（鋳造から一貫生産）
操業開始（18万トン/年）







2-2. 東南アジア新工場

海外展開の必要性

- 新興国の成長
- 既存顧客の海外進出

競合他社動向

- 中国・韓国における大規模設備増強

最新 熱間圧延機 4std導入

- 高品質による顧客要請への対応
- 他社を凌駕するコスト競争力の獲得
- 将来の需要増加への対応

“高品質”と“コスト競争力”を両立する本格的アルミ圧延工場へ

3－1.　住友軽金属工業との経営統合

■統合概要

商号	両者協議の上、新しい社名を決定
本店所在地	両者協議の上、追って決定 ※両者の本店以外の新本店とする予定
合併効力発生日 （統合期日）	2013年10月1日（予定）
統合形式	古河スカイを存続会社とする合併
合併比率	古河スカイ＝1 住友軽金属工業＝0.346 （住友軽金属工業1株に古河スカイ0.346株を割当）



■進捗状況および今後のスケジュール（予定）

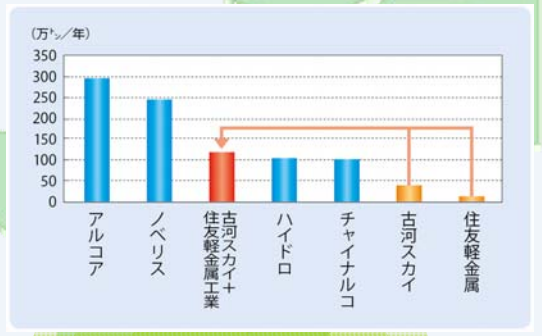
- 2012年8月29日　統合基本合意書の締結
- 2012年9月28日　独占禁止法1次審査終了

- 2013年6月　両社、定時株主総会にて合併契約のご承認
- 2013年10月1日　合併期日（統合期日）

3－2.　住友軽金属工業との経営統合

世界的な競争力を持つ「アルミ圧延メジャー会社へ」

▶生産能力　100万トン超、世界第3位に
▶グローバルに展開する生産拠点ネットワークを獲得



グローバル展開力

強いコスト競争力の確立

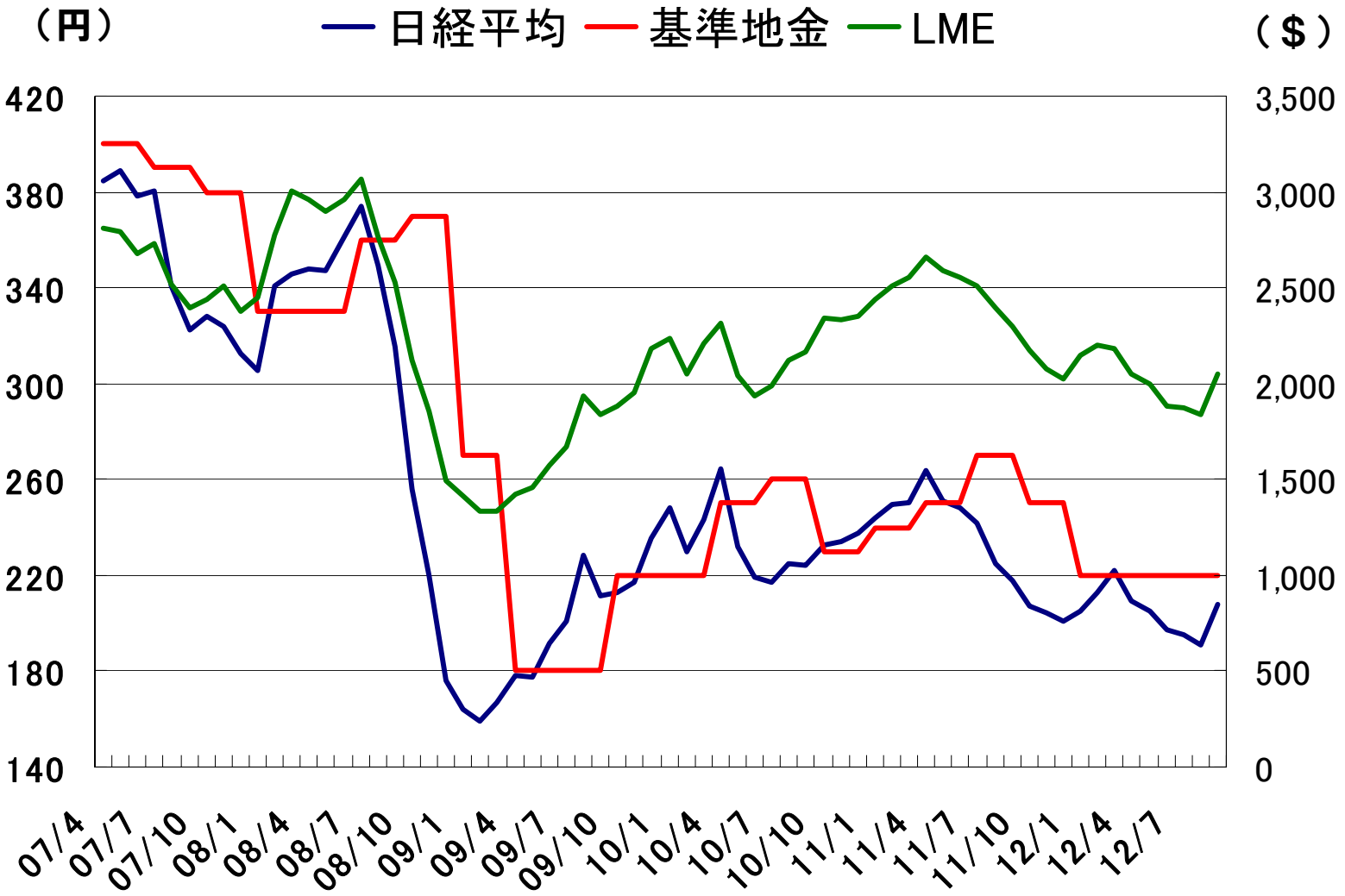
新会社

効率的かつスピード感あふれる経営体制

統合効果の早期創出

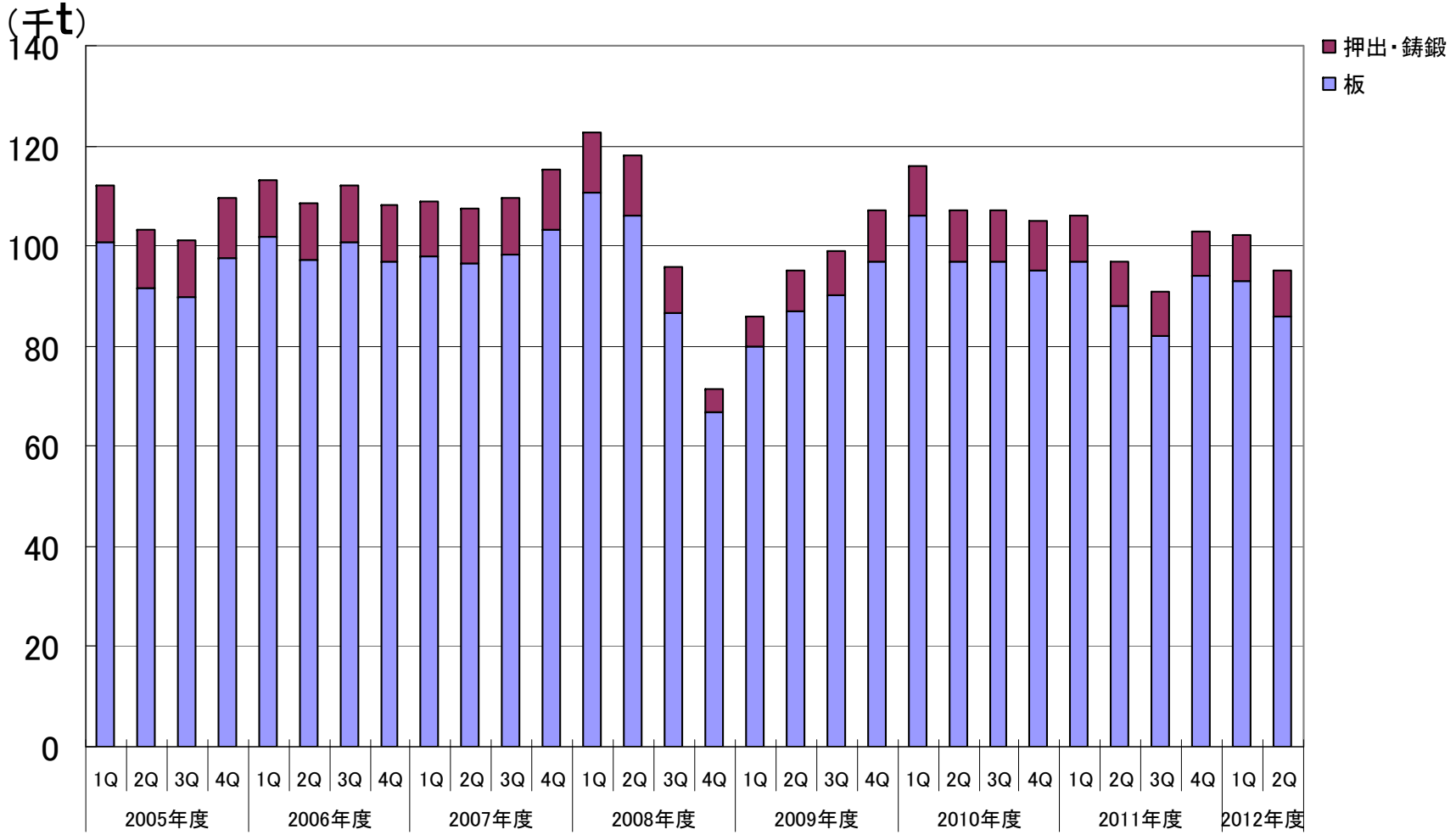
参考資料

アルミ地金日経平均、基準地金、LME推移



参考資料

数量推移


(千t)
140
120
100
80
60
40
20
0
押出・鋳鍛
板
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2005年度
2006年度
2007年度
2008年度
2009年度
2010年度
2011年度
2012年度

■ **将来情報についての注意事項**

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは今後様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があり、確約や保証を与えるものではないことをご承知おき下さい。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

■**著作権等について**

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河スカイ株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

■**本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。**

広報・IR室　TEL：03-5295-3800　FAX：03-5295-3760

ホームページ：http://www.furukawa-sky.co.jp
（東証1部　コード番号：5741）